

高等学校 令和6年度 (3学年用)

教科 社会 (地歴)

科目 世界史演習

教科: 地理歴史 科目: 科目 世界史演習

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組 (世界史演習選択者)

使用教科書: (詳説世界史探究 (山川出版))

教科 教科 社会 (地歴) の目標:

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 科目 世界史演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが周辺諸国の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・中世～現代への歴史の変遷と、諸世界の関連性について考察し、表現している。 ・原典史料から読み取った情報の意味や意義、特色などを自ら考察し、表現している。	・世界史を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めつつ、3年生の受験科目として必要な知識・思考力を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 単元 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ・10世紀～12世紀の東アジアの情勢について理解する。 ・オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料を基に宋代の経済変化やアジアと世界の交流について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・宋代～清代にかけて特徴的な出来事を自ら調べ考察する。	・指導事項 第8章 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 第10章 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域	【知識及び技能】 ・宋代～モンゴル帝国の移り変わり、モンゴル帝国の成立から解体にかけての変遷を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・モンゴル帝国の資料や地図を用いて、モンゴル勢力の影響を多面的・多角的に考察して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・宋の時代から清の時代について、自らが抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
1 学期	B 単元 第14章 アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 ・ヨーロッパ各国の東インド会社のアジアでの活動について理解する。 ・清朝の危機について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東南アジアの植民地化について資料や地図を用いて多面的・多角的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・ヨーロッパがアジアに与えた影響について自ら考える。	・指導事項 第14章 1. 西アジア諸地域の動揺 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動	【知識・技能】 ・ヨーロッパ各国による南アジア、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 ・アヘン戦争を描いた図説資料や地図を元に東アジアの国際秩序の変容について多面的・多角的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・南アジア、東南アジアの植民地化活動について、自らが抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>C 単元 第15章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識及び技能】 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会・文化の変化を多面的・多角的に考察して説明できる。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察して説明できる。 ・インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察して説明できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・列強の植民地や勢力圏を示した地図や図説資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を、多面的・多角的に考察して説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む力等】 ・列強の世界分割について、自ら調べ課題を追求する。</p>	<p>・指導事項 第15章 1. 第二次産業革命と帝国主義 2. 列強の世界分割と列強体制の二分化 3. アジア諸国の変革と民族運動</p>	<p>【知識・技能】 ・列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・列強による太平洋地域の植民地化について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察して説明できる。 ・アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察して説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・アジア諸国の変革と民族運動について自ら抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことを見出して学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>入試問題演習 テーマ史 論述対策</p>			○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	入試問題演習 テーマ史 論述対策						17
						合計	70